



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

令和4年度
文化芸術による子供育成推進事業
—巡回公演事業—

めい きょく
クラシック名曲への
いざない

だい かつ やく
～オーケストラ大活躍！
おと おど び きょう えん
音と踊り、美の共演～

ロイヤルチェンバーオーケストラ

ぶん かい じゅつ こども いく せい すい しん し ぎょう じゅん かい こう えん じ ぎょう
「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶん かい げいじゅつ たい しょうがっこう ちゅうがっこう こうとう こうえん
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、
こども すぐ ぶ たい げいじゅつ かんしやう さい かい え こども ばっ そう りやく のうりやく いく せい
子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
しょうらい げいじゅつ か いく せい こく ぶん げいじゅつ かんしやうのうりやく こうじやう さい かい
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じ ぜん じつ えん こども さいん か
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演では できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

せい さく だん たい けい っ ー かぶ しき がい しゃ
制作団体：ヴィガーK2株式会社 www.vigor-k2.com





出演者紹介

指揮： 御法川雄矢

北海道出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後ヴィオラに転向し桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、2003年桐朋学園大学音楽学部卒業。2000年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。2009年2月NHK交響楽団入団。指揮者としても数多くのバレエ公演をはじめ関西フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、静岡交響楽団、ロイヤルチェンバーオーケストラ等を指揮し高い評価を受けている。また、シンガーソングライター半崎美子氏のオーケストラアレンジ、テノール佐野成宏氏のアルバム「The Christmas Song」の全曲をアレンジするなどアレンジャーとしても活躍している。これまでにヴィオラを故江戸純子、ヴァイオリンを市川映子、指揮を故堤俊作、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・カルテット、どさんこクラシックスのメンバーとして活動。カメラータ・ナガノ音楽監督。



ヴァイオリンソロ 進行： 奥村 愛

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。辰巳明子、ライナー・ホーネックの各氏に師事。第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、第68回日本音楽コンクール第2位など受賞多数。02年、『愛のあいさつ』でCDデビューを飾り、一躍楽壇の注目を集める。以来Aves Classicより数々のCDをリリース。近年は渡辺香津美や小沢健二らの新作レコーディングに参加。国内の主要オーケストラへの客演、全国各地でのリサイタル活動の傍ら「キッズのためのはじめての音楽会」をプロデュース。自身のライフワークとして位置付け、長年に渡り上演を続けている。クラシックのみならず、ジャズ、タンゴ、アイリッシュトラッドなど様々なユニットに参加。その瑞々しい演奏はジャンルの垣根を越えた魅力を放つ。また国内の気鋭の弦楽器奏者たちで構成された「奥村愛ストリングス」としても活発に活動。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。使用楽器は1738年イタリア製のカミリア・カミリー。

バレエ：井上バレエ団

パリ、モンテカルロ等でダンサーとして活躍した井上博文が1968年、「井上博文によるバレエ小劇場」のタイトルのもと、公演プロデュースを開始し、その後バレエ団を結成した。国内外を問わず、優れたダンサー、振付家、美術家等を積極的に招聘する他、衣裳スタジオを併設するなどし、舞踊と美術・衣裳等の総合的な芸術性に留意した舞台制作に早くから取り組んできた。主要なクラシックバレエ作品の他、ネオ・クラシック・バレエ、日本舞踊、スペイン舞踊などを取り入れた個性的な創作作品をレパートリーとする。また、ブルノンヴィルスタイルの継承は、特徴の一つとなっている。2011年公益財団法人の認可を受ける。



知っていますか？10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

管弦楽：ロイヤルチェンバーオーケストラ

1987年に皇太子殿下(当時)を楽団長として結成した「梓室内管弦楽団」を前身とし、91年に故・堤俊作(名誉監督)が結成。2005年にはアイルランド、ベルギー、ルクセンブルク、イタリアなど4カ国6都市を公演旅行で廻り、各都市で絶賛を博した。08年度には「文化庁本物の舞台芸術体験事業」で九州・沖縄の全14の小・中学校で演奏。テレビ・新聞など多くのマスコミに取り上げられた。現在までに、ミッシェル・マイス、スタニスラフ・ブーニ、諏訪内晶子、榎本大進、仲道郁代、山下洋輔、新倉瞳等とも共演し、その精緻なアンサンブルは最高の評価を得ている。また、ボリショイ&マリンスキー劇場バレエ、牧阿佐美バレエ団、井上バレエ団、日本バレエ協会全日本合同バレエ等の各公演などのバレエ公演に加え23年にはバレエ「ペブル」(仮)を上演予定、オペラにおいても現田茂夫指揮、錦織健プロデュースオペラ「愛の妙薬」、「セビリアの理髪師」に参加。西本智実指揮全国ツアー、高嶋ちさ子名曲案内、ドラゴンクエストトベストセレクション、半崎美子withロイヤルチェンバーオーケストラなど、オリジナルプロデュース事業を企画、公演。全国の公共ホール自主事業も多い。2013年に世界的指揮者・西本智実を音楽監督兼首席指揮者に迎え、益々の発展が期待される。

本公演実施スケジュール

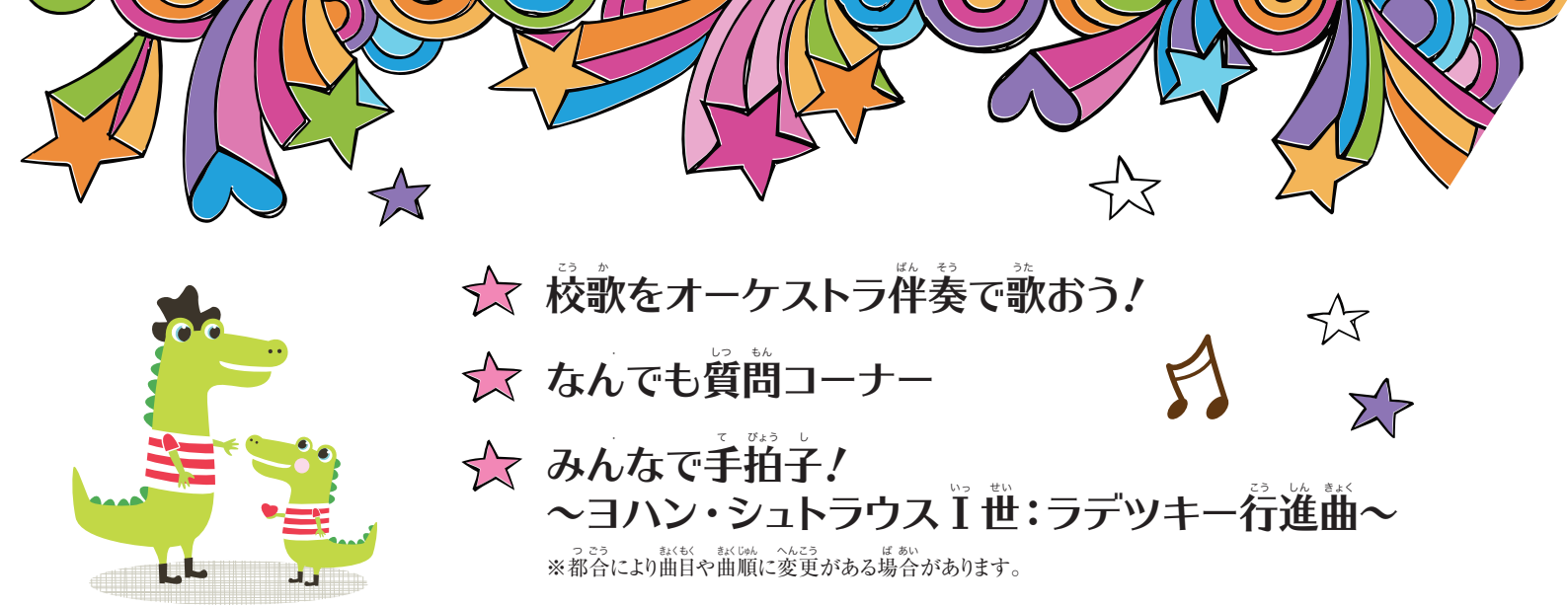
9月30日(金)	千葉県	船橋市立前原小学校
10月 3日(月)	千葉県	千葉市立泉谷小学校
10月 4日(火)	茨城県	つくば市立秀峰筑波義務教育学校
10月17日(月)	茨城県	土浦市立乙戸小学校
10月18日(火)	千葉県	秀明大学八千代中学校
10月19日(水)	東京都	羽村市立松林小学校
10月20日(木)	千葉県	柏市立柏第二小学校



Program

プログラム

- ★ **オーケストラからご挨拶**
~ヨハン・シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ~
- ★ **オーケストラにはどんな楽器があるの? (楽器紹介)**
~弦楽器・木管楽器・金管楽器~
- ★ **指揮者体験 これであなたもマエストロ!**
~ヨハネス・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番~
- ★ **ソリストってなあに?**
~サン=サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調作品28~
ヴァイオリン:奥村愛
- ★ **ワルツを知る**
~ヨハン・シュトラウスⅡ世:皇帝円舞曲~
- ★ **オーケストラとともにバレエを知る、バレエってなあに?!**
ーバレエの表現・マイムを知るー バレエとオーケストラの競演!
~ピョートル・チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より抜粋~
井上バレエ団バレエダンサー共演 振付:石井竜一
- 1. 序曲
- 2. 「くるみ割り人形」の簡単な解説
- 3. バレエの基本的なマイムの紹介
- 4. 各国の踊りと華やかなバレエシーン
中国/トレパック/あし笛/金平糖のヴァリエーション
- 5. フィナーレ



Program Notes

きょうもく かい せつ
曲目解説



- ★ 校歌をオーケストラ伴奏で歌おう!
- ★ なんでも質問コーナー
- ★ みんなで手拍子!
~ヨハン・シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲~
※都合により曲目や曲順に変更がある場合があります。



ヨハン・シュトラウスⅡ世
1825年-1899年

ヨハン・シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ 作品214

オーストリア作曲家でワルツ王と称されたヨハン・シュトラウス2世が作曲した2拍子の明るく楽しい舞曲です。タイトルの「トラッチ」はドイツ語で「おしゃべり」「うわさ話」という意味があり、トリッチと言葉遊びになっています。運動会などで使われたりと、聴き覚えがあるのではないのでしょうか?

ヨハネス・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番

ハンガリー舞曲はドイツの作曲家、ヨハネス・ブラームスが作曲した21曲からなる舞曲集です。もともとはピアノ連弾のために作られたものですが、第5番は他の作曲家により再編曲されたもので最もオーケストラで演奏されることが多い作品です。



カミーユ・サン=サーンス
1835年-1921年

サン=サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品28

*ヴァイオリン:奥村愛

フランスの作曲家、カミーユ・サン=サーンスがヴァイオリン独奏(ソロ)と管弦楽のために書いた作品です。切なげなイントロから、ラストに向かって情熱的に展開していきます。22年北京オリンピックスケートショートプログラムで羽生結弦選手がピアノ版で使用しました。

ヨハン・シュトラウスⅡ世:皇帝円舞曲 作品437

シュトラウスⅡ世の『美しき青きドナウ』『ウィーンの森の物語』とともに「三大ワルツ」と言われます。曲は行進曲風に軽快に始まり、美しいチェロのソロを経て優雅なワルツへと。華やかで優雅な旋律の中にも堂々として壮大な雰囲気をおわせ持つ魅力的な作品です。



ピョートル・チャイコフスキー
1840年-1893年

ピョートル・チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より抜粋

*井上バレエ団バレエダンサー共演 振付:石井竜一

ロシアの作曲家、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキーの三大バレエ(「白鳥の湖」「眠れる森の美女」)のうちのひとつ。物語はクリスマスの夜に、少女クララがおじさんからプレゼントされたくるみ割り人形が実はお菓子の国の王子であったというもの。ここでは、バレエを理解できるよう基本的なマイムと、序曲と2幕「お菓子の国」のシーンから中国「お茶」、ロシア「トレパック」、フランス「あし笛」の各国の踊りと、「金平糖と王子の踊り」、フィナーレをバレエダンサーの踊りとともに演奏します。

ヨハン・シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲 作品228

シュトラウスⅡ世のお父さんで「ワルツ王」と呼ばれたヨハン・シュトラウスⅠ世の作曲。曲名はオーストリアのヨーゼフ・ラデツキー将軍を称えた作品であったことから命名されました。1848年の発表からオーストリア国民に愛され続けられるシュトラウスⅠ世の最高作です。



ヨハネス・ブラームス
1833年-1897年



ヨハン・シュトラウスⅠ世
1804年-1849年